

減災のための目標(案)について

高瀬川(小川原湖)での出水の主な特徴

①湖周辺は低平地で氾濫形態は貯留型

②出水時における水位上昇、降下は緩やかな反面、高水位が長時間継続

③出水と強風が重なると湖岸浸食など風浪被害が生じる

減災のための目標(案)

■5年間で達成すべき目標(案)

高瀬川では、海跡湖である小川原湖周辺に標高の低い平地が広がり、過去に幾度も浸水被害を受けており、また、長時間継続する。近年の計画規模を上回る降雨の発生や平成27年9月関東・東北豪雨等の教訓を踏まえ、高瀬川で発生しうる大規模水害に対し「逃がす・防ぐ・取り戻す」ことにより、氾濫被害の最小化を目指す

- 逃がすとは……流域住民が主体的に水害リスクを把握し、避難につながる、住民目線のソフト対策が必要です。
- 防ぐとは……地域の水防力向上を図り、氾濫被害の防止や軽減、堤防決壊を少しでも遅らせ避難のための時間を稼ぐことが必要です。
- 取り戻す……堤防決壊による大規模な浸水が、長期間に及ぶ地形であることから、1日でも早く日常生活を取り戻すための対応が必要です。

※大規模水害…想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水氾濫による被害

減災のための目標(案)

■ 目標達成に向けた3本柱の取組

高瀬川において再度災害防止を目的として河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流す対策に加え、以下の取組を実施。

1. 住民の主体的で安全な避難行動を促す日頃からのリスクコミュニケーション
2. 発災時に人命と財産を守る水防活動の強化
3. 一刻も早く日常生活を取り戻すための排水活動の強化等

避難行動のための取組事例①

- ・ 平時から住民等への周知・教育・訓練や小中学生を対象とした水防災教育の実施
(他の流域での事例含む)



水防災教育の実施
(他の流域での事例)



標識の例

水位標識の設置事例(東北町)



地図を使い、避難ルート危険箇所を検討
(他の流域での事例)



検討マップを基に実際にまちを歩き、
点検を実施(他の流域での事例)

まるごとまちごとハザードマップ

水防活動の事例①

・水防活動の効率化及び水防体制の強化

◆「避難を促す緊急行動」の一環として
実施した共同点検、堤防点検

◆重要水防箇所合同巡視、水防工法訓練の実施について



【共同点検状況】



【合同巡視状況】



【堤防点検状況】



【水防工法訓練状況】

排水活動の強化等の取組事例

- ・排水機場ポンプ等の点検を実施
- ・各管理者が管理する排水施設の点検・運用状況の情報共有（他の流域での事例）
- ・非常時、各管理者で管理する既存排水施設を活用した排水計画の策定（他の流域での事例） など



排水機場におけるポンプ等の点検